



和田の世帯数・人口

世帯数	1,460 戸
人口	4,191 人
男	2,031 人
女	2,160 人

(平成 30. 1. 1 現在)

和田地区新年祝賀会

ごあいさつ

J A 松本ハイランド
常務理事 田中 均



明けましておめでとうございます。健やかにご家族で新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年色々なことがありましたが、あつという間に終わりました。時が経つのは早いもので、ついこの間「平成」になったと思つたら、もう 30 年経ちました。その平成もあと 16 ヶ月となりました。作家の曾野綾子さんが「時が早く経つと感じるのは、幸福な証拠」と言っています。年のせいだけでは無いと思つていま

J A の現況を報告させていただきます。J A の目的は地域の農業所得の向上にあります。J A の販売額をみると昨年は、葉野菜が全国的に豊作基調で単価安でした。J A 全

体では前年比 93% でしたが、和田地区においては、白ねぎが増加したこともあり、前年比 98% でます。昨年の年でした。「就農することは、地域に就職すること」と言つた方がいます。J A の構成員である組合員は地域の農業者であります。だから、J A は夜逃げができません。またサラリーマン川柳のなかに「定年後田舎に帰れば青年部」という句があります。農業は一生の職業で定年がありません。1 畝でも 1 反歩でもやってみたい方は、お気軽に J A へご相談下さい。

推理小説家の森村誠一さんの言葉に「現時点から未来を見ると今が一番若い。過去はかり見ていると今の自分が一番年を取っている。一番若い

ということを機動力にすれば、無限の可能性を求めることが出来る」今が一番若いという気持ちで未来を見ていきたいものです。

佐賀在住の農民作家の山下惣一さんが「去年のように今年があり、今年のような来年があることが一番ありがたい。私たちはこれを『安定』と呼ぶ。ところが、経済社会一般では、これを『停滞』と呼ぶ。農業の『安定』は決して『停滞』ではなく、社会の安定の土台である」と言っています。今年も安定した和田地区となることを祈念して、年頭のごあいさつとさせていただきます。



よい年になりますように 乾杯!

サークル紹介 ① めだかの会

【めだかの会】は、未就園児の育児サークルで、親子 23 組 (内 子供 28 人) で月 2 回活動しています。内容は、七夕や節分等の季節の行事、親子体操、リトミック等、講師の先生に来ていただく回もありま

す。今年、手ぬぐいパンツづくりや手形アートも行いました。その他にも、福祉ひろばや和田保育園との未就園児交流、ボランティア和田の方による託児など、地域の方と交流し、お世話になりながら活動しています。

入会して良かったことは、親子とも近所のお友達ができたことです。知り合う機会が少ない未就園児にとって、貴重な場になっています。結婚や引越で和田に来られた方も多く参加されています。

和田の皆さんにお願いしたいことは、小さいお子さん連

れの方を見かけたら、ぜひ一声かけてください。地域でのつながりが、親子にとって一つの安心につながると思えます。そして、めだかの会の存在をご存じなかったら、ぜひ



クリスマスのブーツだよ



何作っているの?



全員集合「ハイチーズ!」

お勧めください。
20 年以上の歴史のあるめだかの会ですが、今後とも親子で楽しい時間を過ごせる地域に根付いた会でありたいと思

います。
会長 境 相河 紗雪

自作のしめ縄 飾ってお正月

今年は諸事情により自分で作ることにしたので、しめ縄作り教室に初めて参加しました。

はじめに、しめ縄の由来や意味、飾る時期や期間を教わりました。しめ縄に向きがあることを初めて知り、気を付けて飾ろうと思いました。

まず、しめ縄ですが、藁を足しながら同じ太さにするのは難しかったです。次に、しめ縄につけるごぼう締めを、玄関用として3本作りました。長さや太さがまちまちではありますが、遠目に見ればまあまあ出来でした。他に小さなしめ縄飾りと「おやす」という八百万の神に捧げる食器も作りました。

自分で作ったものを飾るのは楽しいので、毎年やろうと思っています。

中 奥原 加代子



これはごぼう締めと言って…

成人の日を迎えて

中 赤羽 祥吾

この度、私たちは成人の日を迎えました。

生まれて20年間、今日まで多くの人に出会い、様々なものを見て、時に泣き、時には笑いました。これまでのすべての経験によって今の自分があるのだと思います。

これまでたくさんの方たちにお世話になりました。特に、ここまで育ててくれた父や母をはじめ、家族には「ありがとう」だけでは伝わらないほどの感謝があります。

私たちは、これから家族に恩返しする気持ちと共に、成人としての自覚を常に忘れず、責任ある行動と人を思いやる優しい気持ちを持って、社会に貢献できるように頑張りたいと思います。

新成人おめでとう!

～それぞれがそれぞれの花を～

20歳を迎えて

殿 上條まゆき

20歳になり「大人になった」という実感はまだありませんが、自分に責任が問われる年齢になりました。私は一人暮らしをしていましたが、親元を離れてみて両親の大切さ、お金を稼ぐことの大変さを知ることができました。

私が過ごした20年間は、とても楽しく、あつという間でした。それは、支えてくれた家族、友達、地域の方々のおかげです。

今は社会勉強中ですが、色々な事を経験し、日々精進しながら、これからも自分らしく、両親のような誇れる大人になつていけたらと思います。

感謝と決意

境 石橋謙太郎

新成人となり、時間が過ぎるのが早いと感じています。成人という節目を迎え、これまで20年間育ててくれた両親にとっても感謝しています。

私は、小学5年生から大学2年生の現在まで、野球を続

けています。いつも支えになってくれる両親に良いプレーを観てもらえるように、これからも精進していきます。また、両親だけではなく、地域の方々にもたくさんお世話になってるので、少しずつ恩返しができるように思います。

さらに私は、和田神社の祭では笛をやらせていただいています。地域の伝統文化を絶やさないように続けていこうと思います。

今年は、小さな目標を一つ一つクリアしていき、自分が少しでも成長できるように頑張ります。

目標に向かって

境 宮島 遥

私は4月から、介護の仕事に就きます。短大で介護の勉強をし、施設で実習を行いました。座学も大切ですが、現場での体験は将来必ず自分のためになると思います。利用者の方に言われた「ありがとう」「お姉ちゃんに会えてよかった」「また会いに来てね」「頑張つてね」という言葉に勇気もらい、介護の職に就きたいという気持ちがより強くなりました。

学校で学んだことと、実際に施設で学んだことを、就職先でできるようにしたいです。また、利用者の方の気持ちになつて考え、その人らしい生活を送っていただけのようなプランを考えたり、利用者の方に信頼されるような介護職員になりたいです。そのため、コミュニケーションをとるときは笑顔を忘れずに、その方の思いを大切にしていきたいです。

編集後記

あけましておめでとうございます。早い冬の訪れに、慌ただしい年末でしたが、新しい年を迎えることができました。初夢を見られた方もいらっしゃると思います。

これからますます寒さが厳しくなりますが、「ホット」するような温もりのある行事や写真を載せていきたいと思っております。今年もよろしくお願ひします。

大和・宮島・奥原

